

## 「県民の声」とりまとめ

### 意見・要望

出所：県民健康調査課への電話・メール、医大コールセンターへの電話、甲状腺検査出張説明会・出前授業、避難者交流会・相談会等

### 基本調査に関すること

- 1 個人ごとの行動記録は異なるのに、代表性の線量評価は無謀ではないか。
- 2 外部被ばく線量の推計期間は、4ヶ月間だけでは不十分ではないか。

### 甲状腺検査に関すること

(対象者、検査体制等について)

- 1 事故後に生まれた子どもの検査をして欲しい。
- 2 震災当時福島にいてその後自主避難した人は検査の対象で、震災後引っ越してきて今も福島にいる人が検査を受けられないのは変だ。
- 3 大人にも通知を出して検査を推奨するべき。
- 4 19歳以上の進学等のために県外へ転出した対象者に対して、もっと受診を促すべき。現在の対応では足りず、受診率が低下していくのは見え見えだ。
- 5 20歳以上について、5年ごとの検査間隔は長すぎる。
- 6 成人後も2年おきに検査を実施して欲しい。
- 7 県外での検査は施設と曜日が限定されており、土日の検査も少ない。いつでも受けられるようにして欲しい。
- 8 学校で行う甲状腺や内部被ばく検査で授業の時間がつぶれているのはおかしい。
- 9 いつまで検査を続けなければならないのか、いつになったら大丈夫だと判断できるのか示して欲しい。
- 10 一般会場での説明ブースは良い取り組み。医師から画像を見せられて説明を聞いたので安心した。
- 11 交通費が自己負担なのは原発事故に起因する検査で自分に非がないのにおかしい。
- 12 甲状腺検査サポート事業について、甲状腺の手術費を税金で支出するのはおかしい。甲状腺がんと原発事故についての因果関係をはっきりさせた上で、手術費等の負担者を決めるべき。

(県外での検査について)

- 13 環境省が福島県以外（弘前、甲府、長崎）で検査を実施したが、自分の市でもやって欲しい。
- 14 関東も放射性物質が多く飛んでいるのだから、他の地域も検査をするべき。

- 15 原発の放射線の影響がないところの子どもの検査結果との比較を発表して安心させて欲しい。

(放射線の影響評価について)

- 16 これだけ甲状腺がんが出てきているのに、「放射線の影響は考えにくい」というのはおかしい。
- 17 放射線の影響はないと言っているが、悪い方に考えて県民を守るのがあなたたちの仕事ではないのか。放射線の影響を念頭に置いてやらなきゃ駄目だ。
- 18 「放射線の影響は考えにくい」ではなく「分からない」とするべきではないか。
- 19 「影響がない」という結論を先に決めているのだろう。結論ありきだ。
- 20 放射線の影響は考えにくいと言っているが、では原因はなにか。いつになったら影響はないとかあるとか判断するのか。
- 21 放射線の影響は考えにくいと言うが、では見つかっている甲状腺がんは何が影響しているのか教えて欲しい。原因が分からないのに否定的な物言いをするのはおかしい。
- 22 放射線の影響は考えにくいと報道されているが、それなら自覚症状が出てから検査をするべきではないか。検査受診は子どもやその親への負担になっている。
- 23 初期被ばくのちゃんとした測定もせず、チェルノブイリとの比較や地域差がないことだけで「放射線の影響とは考えにくい」と書くのは恣意的。見直してもらいたい。
- 24 震災時5歳から甲状腺がんが見つかったのに放射線の影響とは考えにくいとはどういうことなのか。
- 25 甲状腺がんの原因を究明することに真剣に取り組まなければならない。
- 26 遺伝子検査等より突っ込んだ検査を行い、原発事故の影響について明らかにして欲しい。
- 27 ねずみ等で動物実験を行って、放射線の影響についてはっきりさせるべきだ。
- 28 県の検査の枠外で自主的に検査を受けたデータもあわせて総合的に検討するべき。
- 29 放射線の影響かどうか知りたいのではなく、がんになった後のケアについて不安に思っている。
- 30 放射線の影響評価のために子どもに検査を受けさせている訳ではない。
- 31 県外の人たちが騒いで、放射線の影響でがんが出ていると言っていて迷惑している。

(情報発信について)

- 32 何かあれば放射線のせいだとされてしまう。こういったことにならないためにも県として基本的な知識等について広く説明する必要がある。
- 33 知事はもっと（甲状腺検査に関する）情報を発信すべき。
- 34 甲状腺検査だけ特出しして、情報発信や報道がされると逆に不安を煽るのではないか。
- 35 二次検査以降保険診療に移行した者たちの情報をなぜ公表しないのか。

(その他)

- 36 検査を受けること自体負担で、結果が出るまで不安でいっぱいになる。

- 37 自分の子どもが甲状腺がんになったらどういう気持ちになるか考えて欲しい。
- 38 不安なんて解消されない。
- 39 若い方々は、本当は心配しているが口に出さないだけである。
- 40 外科部門の先生から実際の現場の話を聞きたい。

### **健康診査に関すること**

- 1 原発事故でどのような影響が見込まれるから、どのような項目を検査するといった体系だった検査・調査がされていないと感じる。
- 2 甲状腺がんのみならず、白血病や白内障等他の症状についても取り上げ検査すべき。
- 3 避難区域の人はすぐに避難してそこまで被ばくしていない。福島に留まっていた人の方が被ばくしているのに、健診等の機会が避難区域の人よりも少ないのはおかしい。
- 4 避難区域で区切っているが、県内全域、いや県外だって汚染されているのだから健診項目について避難区域内外で統一すべき。
- 5 疾患が増えたとかではなく、予防に役立てるようなコメントや助言をしてほしい。
- 6 健康を見守るといいながら、第一にデータだけを集めるように感じる。
- 7 放射線の影響がないと言っているのに健診を継続していることを矛盾に感じる。

### **こころ・生活習慣に関する調査に関すること**

- 1 要支援ではない人へも個人別の分析（結果通知書）が届くようになったのは良いことだ。
- 2 結果はもっと早く送って欲しい。

### **妊産婦に関する調査に関すること**

- 1 放射線被ばくによる子孫への影響が不安である。
- 2 平成23年度回答者に対するフォローアップ調査（追加調査）はありがたい。見守られているという気がする。

### **ホールボディカウンター（WBC）による内部被ばく検査に関すること**

- 1 不安の強い人に対しては、内部被ばく検査と尿検査をするのがいいのではないか。
- 2 自分たちで計算できるよう、預託実効線量ではなく測定値で公表すべき。
- 3 検査では放射性物質を検出される方がほとんどいないという話を聞く限り、検査することが不安の解消につながるとは思えない。もっと建設的な税金の使い方を考えた方がいいのではないか。
- 4 いつまで内部被ばく検査を実施する予定か。

### 「県民健康調査」検討委員会に関すること

- 1 もっと県民の意見を反映させるべきだ。
- 2 県民にもっと寄り添い、県民の意見を聞く機会をたくさん設けて欲しい。
- 3 検討委員会の資料の作り方が悪く見にくい。
- 4 甲状腺検査評価部会はいつ開催されるのか。早く開催すべきだ。
- 5 土日に開催して欲しい。
- 6 放射線の影響が「ある」と「ない」の両方の意見を聞きたい。
- 7 放射線の影響があると主張している専門家を検討委員会に呼び、公開で議論して欲しい。

### その他（各調査に共通する内容を含む）

- 1 県はもっと東電に抗議すべき。
- 2 県のいうことは信用できない。
- 3 「福島」の文字が入った封書を送らないで欲しい。避難先で差別を受ける。
- 4 県直営ではなく医大へ調査を丸投げしているのはおかしい。
- 5 県はデータを集めて集計結果をただ報告するだけで、きちんとした対応ではない。
- 6 どうしても研究のための調査だと感じてしまう。
- 7 医者から病気と東電（放射能問題）との因果関係はわからないと言われ納得がいかない。

## 相談

出所：「放射線と健康」相談会

- 1 委託先 一般社団法人 福島県医師会
- 2 期間 平成27年度（平成27年6月13日～平成28年3月19日）
- 3 開催地 県内全域

### 甲状腺（検査）に関すること

- ・自分の住んでいる市も今後小児甲状腺がんが増加する可能性があり、非常に心配している。現在できる対策を教えて欲しい。
- ・子どもが初回の検査でB、二次検査でA2判定となったが、それ以上の説明がなく納得できないでいる。
- ・22歳と18歳の子どもがいるが、甲状腺検査の必要性がどれくらいあるのか。
- ・子どもたちの甲状腺がんが増えていると報道されているが、放射線の影響で成人の甲状腺がんも増えると聞いている。今後このまま住んでいて問題ないのか心配である。
- ・県立医大の検診は信用していない。どこか検査を受けることができる医療機関を紹介して欲しい。
- ・今後、甲状腺がんの危険性を低下させるために何かできることはないか。
- ・自分自身が甲状腺腫大に気がついた。ここに住み続けて大丈夫か。
- ・甲状腺が腫れているため医大で検査をしてもらったが、原発事故との関係はわからないと説明された。本当にそうなのか。
- ・県民健康調査で子どもたちの甲状腺がんがたくさん見つかっているが、どう考えても普通のこととは思えない。どのように考えれば納得できるのか教えて欲しい。

### 食品に関すること

- ・普通の食事で、放射線の影響はどれくらいあるのか。
- ・隣近所から露地栽培野菜をいただくときがあるが、放射能汚染がないかどうか心配。
- ・震災直後の原発が爆発後、山菜を多くもらい食べていた。今になって少々心配。
- ・小学校給食を食べさせているので不安や心配がある。食材を測るのではなく、できあがった給食を測っているのだから、それぞれを調べて欲しい。
- ・両親が自家製野菜を送ってくれるが、食べさせても良いか。
- ・山の食物は何年後に食べられるようになるか。
- ・ペットボトルの水を利用してミルクを作っていたが、今後は水道水で大丈夫か。
- ・夫が山登り好きで原発後も再三登っている。秋にはきのこ、春には山菜など好んで食している。最近体に変調を起こしている。免疫が弱まり、イライラしているように感じる。

### 空間線量に関すること

- ・自分の住んでいる市は空間線量が高い場所が比較的多いと聞いており、今後の生活が心配。
- ・子どもに対し現在の放射線量は、健康影響の心配ないかどうか。
- ・山の線量は測っているのか。
- ・普段外遊びをさせているが、大丈夫か。
- ・3年くらい前にアパートの窓近くや玄関近くの線量が高かったが大丈夫か。

### 医療被ばくに関すること

- ・レントゲンを20回ぐらいとっており、放射線の影響が心配。最近、頭痛があったり心配。
- ・CT検査を繰り返す時には、間隔を空けたほうが良いのか。
- ・子どもが歯科でCTを撮るように繰り返し言われている。原発事故で多少なりとも被ばくしていると思うので、CT等によりさらに被ばくを受けることには反対で拒否している。

### 子どもに関すること

- ・放射線の子ども、胎児への影響はあるのか。
- ・放射線の遺伝性影響についてはどうか。
- ・広島の前爆被害者の骨髄骨異常性症候群の関連から大丈夫とは言えないのではないのか。
- ・放射線が気になるが、外遊びをさせている。口内炎ができやすいと心配している。
- ・外で活動する運動を希望した場合やお弁当の持参など、外部被ばく・内部被ばくの危険性は少しでも軽減したいと思っているので、子どもたちに対しどう対応していけば良いか非常に悩んでいる。
- ・とにかく子どもたちの将来が心配で、子どもたちの事を最優先で考えたいが何が最も良いことなのか考えれば考えるほど分からなくなる。
- ・保育士としての自分の立場で何ができるのか、今後の対応の仕方を教えて欲しい。
- ・今まで保育園に預けている子どもの外遊びを禁止してきたが、一体どの程度の線量になった時に子どもの外遊びを許してもいいのか、その基準があれば教えて欲しい。
- ・保養プログラムであちこちに休みのたびに保養に行かせている。福島県からの子どもでかわいそうとちやほやされている状況を見ると、わがままに育たないか心配。

### 避難・移住に関すること

- ・母子避難から戻ってきてから、放射線量を気にしながらの生活。夫もその両親も全く理解がなく、一人だけ追い詰められている気がする。
- ・母子避難しているが、放射線の危険性について相談できる人がいない。
- ・母子避難していたが、戻ってくることとなった。久しぶりに帰ってきて、生活する上での注意点など教えて欲しい。

- ・母子避難から戻ってきた。子どもたちの健康を考えると帰ってきたことが正しかったのかどうか確信が持てない。
- ・事故後に県外へ避難したところ子どもがうつ病になってしまった。どのようにすれば良いか。
- ・県外へ移住する事が決まったが、移住先で地域になじむ前に差別される可能性を心配している。

### 放射線に関する情報発信に関すること

- ・私自身も時に何が正しいことなのか、全く分からなくなり不安な状況により、それを見ている子どもたちもさらに不安になっている。正しいことは何か、教えて欲しい。
- ・放射線の影響としては分からないこともたくさんあると思うが、できるだけ正しい情報を伝えて欲しいと思っている。分かる範囲での危険性と、それを回避する方法を教えて欲しい。

### 放射線の健康影響一般に関すること

- ・子どもの鼻血が頻回。朝起きると鼻血がついている。
- ・子どものアトピー性皮膚炎について、震災以前からあるが原発事故以降悪化してきた。被ばくが原因のようにも思えるがこのようなことを主治医にも聞けない。
- ・事故当初あまり気にせず過ごしてしまった1年が子どもの将来に影響するのではないかと非常に心配している。
- ・放射性物質は体の中に残るのか。
- ・よくサーフィンをしていて、海水を飲んでしまう。健康への影響はないのか。
- ・震災以降便秘になった。放射線の影響などもあるのかどうか心配。

### その他

- ・自分の被ばく量を知りたいが、検査はどこでできるか。
- ・広島、長崎の原爆による被ばく量はどのくらいか。
- ・子が除染作業員。被ばくが心配だが、ガラスバッチやマスクをしていない。
- ・ガラスバッチを服の内側に付けていても良いか。
- ・福島の復興のために働いているが、十分な給料ではなく、資金繰りが大変。保障は受けられず、精神的にも困っている。